

アートと 社会と 未来について

鳥取県立博物館は、昭和47年の開館以来、地域の歴史文化の継承・発展の拠点として、またその普及を通じた教育施設として活動を続けてきました。46年を経たいま、時代の変遷によりニーズが多様化する一方で、施設の老朽化やスペースの狭隘化などさまざまな課題に直面しています。現在検討している新美術館の整備計画は、そうした課題を解決すると同時に、人口減少時代の鳥取県の地域再生拠点として、その未来の姿を描こうとしています。

このたび、県内各地で活動される方々をゲストに、地域における文化活動やそのあり方、そして未来の美術館について考え、語り合うトークイベント「ミュージアム・サロン」を開催します。今回のゲストは、東京と地元・鳥取の二拠点で活動するアートディレクター／デザイナーの古田琢也（ふるた・たくや）さんです。HOME8823、隼Lab.など、八頭町を拠点にクリエイティヴなまちづくりを手がける古田さんのこれまでの活動とそのバックボーンについてお話を伺いながら、参加者の方々と一緒にアートと社会と未来について考え、意見交換する場にしたいと思います。

ぜひお気軽にお集まりください。

美術館を考え続けるプロジェクト#02 | ミュージアム・サロン07
古田琢也（アートディレクター／デザイナー）× 赤井あずみ（鳥取県立博物館学芸員）



写真:昨年度のワークショップ風景 | 鳥取県立博物館近代美術展示室

日時 | 2018/05/23 [水] 19:00-21:00

会場 | 隼Lab. 2F（鳥取県八頭郡八頭町見槻中154-2）

参加費 | 無料

主催・問合先 | 鳥取県立博物館 美術振興課 美術担当

電話:0857-26-8045